

第 85 回 宮崎大学イブニングセミナー (Evening Seminar)

宮崎大学が取り組む SDGs

テーマ : 『宮崎県の環境問題』～持続可能な社会に向けた研究～

日 時 : 令和 4 年 10 月 25 日 (火) 17:30-19:00

場 所 : Zoom ウェビナーで配信します。

定 員 : 制限は設けておりません。



申込方法 : QR コードをクリックするか、コードを読み取ってお申込みください。

上記でのお申込みが困難な場合には、メールにて「教職員・学生の別、所属、氏名」をお知らせ下さい。

宮崎大学研究推進課総務係 E-Mail : ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL : 0985-58-2882

《司 会》 西 和盛 (地域資源創成学部 食料経済学 教授)

開会挨拶

鮫島 浩 (学長)

発 表

1. 17:35-17:55

「廃棄物処理とリサイクルと地域環境～地域資源創成学における環境研究」

戸敷 浩介 (地域資源創成学部 環境 (リサイクル、環境保全) 教授)



2. 18:00-18:20

「森林とミツバチと日向夏の関係」



光田 靖 (農学部 森林緑地環境科学科 教授)

3. 18:25-18:45

「ウミガメとイルカと海洋ごみ～身近な海の環境問題～」

西田 伸 (教育学部 理科教育 生物学 准教授)



※各発表の後に質疑応答の時間を設けます

閉会挨拶

片岡 寛章 (理事・副学長)



第 85 回 宮崎大学イブニングセミナー (Evening Seminar)

宮崎大学が取り組む SDGs

テーマ : 『宮崎県の環境問題』～持続可能な社会に向けた研究～

1. 「廃棄物処理とリサイクルと地域環境～地域資源創成学における環境研究」

戸敷 浩介 (地域資源創成学部 環境 (リサイクル、環境保全) 教授)

私たちの社会は、たくさんの様々なものを生産し、消費することで、経済的に豊かで、快適な暮らしを維持しています。そしてその過程で、たくさんの様々なものを廃棄しています。廃棄物には不衛生なもの、有害物質を含むものなどがあるため、適切に処理・処分する必要があります。また、2000 年前後からは循環型社会の構築のために、分別・リサイクルも推進されています。しかし、実際はどうなっているのでしょうか。私たちの生活や地域の産業から廃棄されたものの行方を知る機会は、非常に限られています。2016 年度に新規開設された地域資源創成学部で環境分野を担当することになった私は、地域の身近な廃棄物の処理やリサイクルをテーマに、教育・研究を進めています。本セミナーでは、我々が毎日排出しているごみや、畜産業から排出される家畜ふん尿などに由来する宮崎県の課題を紹介したいと思います。

2. 「森林とミツバチと日向夏の関係」

光田 靖 (農学部 森林緑地環境科学科 教授)

私たちの生活は自然生態系から様々な恩恵を受けています。これを生態系サービスと呼びます。その中でも特に農業生産と密接に関係するのが、昆虫などが植物の結実に必要な花粉を運搬する送粉サービスです。ある研究の試算によると、日本の農業における送粉サービスの評価額は年間 4,700 億円とされています。送粉サービスの代表的な担い手としてミツバチが挙げられます。そこで我々の研究室では、綾町で花粉媒介者として野生のニホンミツバチに着目し、農作物として花粉の媒介を必要とする日向夏への送粉サービスを研究しています。研究の結果、野生のニホンミツバチは天然林に営巣するので、周囲に天然林が多い日向夏農園に多くのニホンミツバチがやってくるということが分かりました。天然林を保全・再生することが、ニホンミツバチをとおして、日向夏生産にも貢献すると言えます。森林とミツバチと日向夏との関係を例に、生態系サービスと社会との係わりについて紹介します。

3. 「ウミガメとイルカと海洋ごみ～身近な海の環境問題～」

西田 伸 (教育学部 理科教育 生物学 准教授)

ここ数年、海洋ごみ-特に海洋プラスチックごみが様々な生物に与えている影響について、SDGsとの関連も含めてニュースで多く取り上げられています。この海洋ごみ問題は遠い地域での話でしょうか？宮崎大学キャンパスからほど近い、青島や白浜の海岸にも、ウミガメ類が座礁・漂着することがあります。情報が寄せられると可能な限り現地へ赴き、種の判別、計測、そして消化管内の異物の探索を行っています。その結果、やはり宮崎の海で生活しているウミガメ類の体内からも、様々な種類のプラスチックごみが検出されました。本セミナーでは、これらウミガメ類のことに加えて、同じく日向灘に座礁・漂着するイルカ・クジラ類の話題も含めて、お話をさせていただきます。

